

平成 13 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名	株式会社エフアンドエム
コード番号	4 7 7 1
本社所在地	大阪府吹田市豊津町 12 番 38 号
上場取引所	ナスタック・ジャパン市場
代表者の役職氏名	代表取締役 森 中 一 郎
問 合 せ 先	責任者役職名 管 理 本 部 長 氏 名 杉 浦 友 泰 T E L 06 (6339) 7177

平成 13 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績等の概況

当社の平成 13 年 3 月期 第 3 四半期（平成 12 年 4 月 1 日から平成 12 年 12 月 31 日まで）における連結業績等の進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本資料は、第 3 四半期における連結業績等の速報であることから、本資料に記載された財務諸表等の一部には正規の決算手続きを経ていないものが含まれており、これらに対する公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

記

(注) 百万円未満切捨て

平成 13 年 3 月期第 3 四半期（平成 12 年 4 月 1 日～平成 12 年 12 月 31 日）の業績

(1) 連結業績の状況

	13 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	12 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
売 上 高	2,490 百万円	%	百万円	2,769 百万円
営 業 利 益	379			431
経 常 利 益	352			440

(注) 1 . 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算（連結）を行なっておりませんので記載を省略しております。

2 . 連結対象子会社の設立等により、今期から連結決算を始めており、前期の数値に関しましては単体の数値を記載しております。

3 . 当四半期における連結子会社は 1 社、持分法適用会社は 1 社であります。

(2) 部門別の売上高の内訳

	13年3月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期増減率	12年3月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	%	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
アウトソーシング 業	1,673	67.2				1,962	70.9
エフアンドエムクラブ 業	757	30.4				779	28.2
アウトプレースメント 業	32	1.3				3	0.1
そ の 他 業	27	1.1				23	0.8
合 計	2,490	100.0				2,769	100.0

(注) 1. 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算(連結)を行なっておりませんので記載を省略しております。

2. 連結対象子会社の設立等により、今期から連結決算を始めており、前期の数値に関しましては単体の数値を記載しております。

(3) 主な資産・負債の変動について

(単位:百万円)

項 目	13年3月期第3四半期	増 減 額	前 期 末
(資 産)			
現金及び預金	1,235	346	889
売掛金	504	203	301
有価証券	580	580	-
工具器具備品	155	65	90
ソフトウェア	87	65	21
投資有価証券	54	100	154
関係会社株式	122	112	10
保険積立金	275	150	124
(負 債)			
短期借入金	110	385	495
未払法人税等	35	151	186
賞与引当金	65	35	101
長期借入金	500	500	-

(注) 1. 連結対象子会社の設立等により、今期から連結決算を始めており、前期末の数値に関しましては単体の数値を記載し、比較しております。

2. 主な資産・負債の変動につきましては、当第3四半期末日(平成12年12月31日)現在において、前期末日(同年3月31日)現在と比較して、総資産額の100分の1以上変動があった科目を記載しております。

3. 流動資産は、当社の平成12年7月21日の公募増資の払込金による「現金及び預金」の増加、顧客数拡大による「売掛金」の増加及び金融商品の購入による「有価証券」の増加により、前期末比13億9百万円増加し、25億90百万円となりました。

4. 固定資産は、チャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社へ出資した為の「関係会社株式」の増加、貯蓄商品購入による「保険積立金」の増加により、前期末比3億39百万円増加し、9億79百万円となりました。

5. 流動負債は、「短期借入金」の減少、「未払法人税等」「賞与引当金」の減少により、前期末比4億48百万円減少し、5億24百万円となりました。

6. 固定負債は、財務安定性の確保の為の「長期借入金」増加により、5億円となりました。

当期第3四半期業績の概況

事業部別概況と今後の見通し

(1) アウトソーシング事業

当四半期におけるアウトソーシング事業部の取り組みとしましては、更なる顧客数の増加を図る為、全社的な紹介キャンペーンを行い既存顧客からの紹介促進に努めてまいりました。顧客獲得の為に各生命保険会社営業拠点でのサービス説明会は1,526回(前四半期938回)実施し、その結果顧客数は3,845人純増し(前四半期4,708人)12月末現在での総顧客数は51,950人となりました。

また当事業の顧客数増加策として、従来の記帳代行サービス以外の付加サービスを目的として携帯端末とブラウザを活用した生命保険会社営業職員向けのビジネスサポートサイト「e-seihoclub」のモニタリングを開始し、12月より全国各地でサービス説明セミナーを開始いたしました。

今後の施策と致しましては、次四半期より本格的に販売開始した、「e-seihoclub」を更なる顧客囲い込み策として、新たな収益源とすべく推進する他、生命保険会社営業職員にとって、ビジネス・プライベートの両面において役立つ情報供給を行うことによって、更なる顧客満足度の向上に努めてまいります。また他業種への記帳代行サービスにつきましては、マーケティングを継続し早期の事業化に向けて鋭意努めてまいります。

次四半期(1~3月)における顧客数の増減について

当社アウトソーシング事業は毎年度の傾向として当社顧客を含む生命保険会社営業職員の退職が多くなる次四半期(1~3月)において、当社顧客の解約数も増加するものと予想しております。これらの対策として、前記における記帳代行以外の付加サービスを強化するとともに、解約による顧客数減を埋める新規顧客獲得の為に営業強化策に努めてまいります。しかしながら当社では、毎年度の期間特有の要因から期末総顧客数は当四半期末総顧客数に比べ、若干の減少を予想しております。

(2) エフアンドエムクラブ事業

当四半期におけるエフアンドエムクラブ事業は、会員企業数が前四半期より421社純増し(第1四半期456社増、第2四半期452社増)、12月末時点の会員総数は5,017社となりました。純増数では前年同四半期と比べ約2.5倍の伸びを確保致しました。具体的な施策としましては、従来の生命保険会社ルートに加え、地方銀行、各種企業組合等でのセミナーにおいて、当社より講師を派遣することにより、販売ルートの多様化と営業機会の増大に取り組んでまいりました。また顧客獲得の前段階である無料総務診断紹介アンケートは当四半期で5,518枚(前四半期6,127枚)の回収があり、紹介案件としての訪問企業数は2,937社(前四半期2,760社)となり、概ね順調なペースを確保しております。

しかしながら現状の販売体制では、顧客数の順調な増加が見込まれるものの、大幅に顧客数増加ペースを上げることは困難であるとの認識から、以前より課題であった当サービスの代理店化を進めるために、専任のプロジェクトチームを立ち上げ、遅くとも来期早々にはスタートさせるべく代理店化に取り組んでおります。

また代理店化に伴い現在エフアンドエムクラブ会員に対して、提供している総務のポータルサイ

ト「e - s o m u」の内容を更に高機能化し、代理店向け商品とすべく鋭意開発中でございます。

(3) アウトプレースメント事業

当四半期におけるアウトプレースメント事業は、引き続き求人案件保有の強みを活かし、先行他社との差別化を進め、柔軟な契約形態を提案することで、受注に努めてまいりました。アウトプレースメント業界は現在新規参入が相次ぐ中で、競争激化から撤退を余儀なくされる企業も散見されます。そのような環境の中、当社は米国アウトプレースメント業界の最大手であるチャレンジャー・グレイ・クリスマス社の日本代表法人であるチャレンジャー・グレイ・クリスマス株式会社（以下チャレンジャー社）に平成12年1月17日、資本参加し筆頭株主になるとともに当社アウトプレースメント事業をチャレンジャー社に統合いたしました。これによりチャレンジャー社は当社の持分法上（29.7%）のグループ会社となり、当社アウトプレースメント事業はチャレンジャー社で引き継いでおります。

また同時に、当社アウトプレースメント事業で行っていた「総務実務講座」（全52講座、65時間）は当社固有の講座として、広く一般に展開する方向を固め、マーケティングを進めるとともに来期以降の収益貢献の事業として、同講座を中心とした管理・総務部門の様々な教育プログラムを開発し、当社独自のビジネス・エデュケーション事業を目指してまいります。

(4) 売上原価及び売上総利益について

当四半期の各事業部の売上原価及び売上総利益は以下のとおりです。

平成12年4月1日～12月31日（9ヶ月累計）

- ・ アウトソーシング事業.....売上原価：750百万円
売上総利益：922百万円（対前年同期比125.9%）
- ・ エフアンドエムクラブ事業...売上原価：159百万円
売上総利益：598百万円（対前年同期比185.1%）
- ・ アウトプレースメント事業...売上原価：40百万円
売上総利益：7百万円（対前年同期比154.5%）
- ・ 全社計...売上原価：984百万円
売上総利益：1,505百万円（対前年同期比141.2%）

平成12年10月1日～12月31日（当第3四半期）

- ・ アウトソーシング事業.....売上原価：263百万円
売上総利益：312百万円（対前年同期比112.6%）
- ・ エフアンドエムクラブ事業...売上原価：39百万円
売上総利益：255百万円（対前年同期比216.1%）
- ・ 全社計...売上原価：321百万円
売上総利益：561百万円（対前年同期比139.9%）

（注）前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算（連結）を行っておりませんので、当社単体の業績との比較になっております。

（5）平成13年3月期の連結業績予想（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
通 期	3,582	600	300	25,151.31

(注) 1 . 1株当たり当期純利益は、株式分割後の株数で割った金額を記載しております。

(6) 株式分割について

当社は平成13年2月20日をもって、株式分割1:2を実施し、同日付で当社発行済株式数は、11,936株となる見込みであります。

単体業績

(1) 平成13年3月期第3四半期(平成12年4月1日~平成12年12月31日)の業績

	13年3月期第3四半期 (当四半期)	対前年同期 増減率	12年3月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売上高	2,490 百万円	30.2 %	1,913 百万円	2,769 百万円
売上総利益	1,500	40.7	1,066	1,504
営業利益	400	44.7	276	431
経常利益	390	36.2	286	440

(注) 1 . 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を行っていないため、月次の累計金額によっております。

(2) 部門別の売上高の内訳

	13年3月期第3四半期 (当四半期)		対前年同期 増減率 %	12年3月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)		金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
アウトソーシング 業	1,673	67.2	25.1	1,337	69.9	1,962	70.9
エフアンドエムクラブ 業	757	30.4	39.0	544	28.5	779	28.2
アウトプレースメント 業	32	1.3	-	1	0.1	3	0.1
そ の 他 業	27	1.1	8.9	29	1.5	23	0.8
合 計	2,490	100.0	30.2	1,913	100.0	2,769	100.0

(注) 1 . 前年同四半期の数値に関しましては、四半期決算を行っていないため、月次の累計金額によっております。

(3) 売上原価及び売上総利益について

当第 3 四半期の各事業部の売上原価及び売上総利益は以下のとおりです。

- ・アウトソーシング事業.....売上原価：752 百万円
売上総利益：920 百万円 (対前年同期比 125.6%)
- ・エフアンドエムクラブ事業...売上原価：160 百万円
売上総利益：596 百万円 (対前年同期比 184.7%)
- ・アウトプレースメント事業...売上原価：40 百万円
売上総利益： 7 百万円 (対前年同期比 154.4%)
- ・全社計...売上原価：990 百万円
売上総利益：1,500 百万円 (対前年同期比 140.7%)

(4) 販売費及び一般管理費について

当第 3 四半期の販売費及び一般管理費は 1,099 百万円 (対前年同期比 139.3%) となっております。主な要因は事業拡大による人員増加の為の person 費の増加であります。

以 上